

参加  
無料各授業  
定員5名

# Bコース [実習] 2月開講分 太陽光植物工場における 生体情報計測と環境制御

UECS®

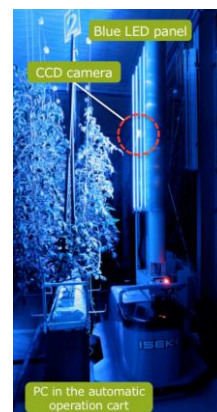
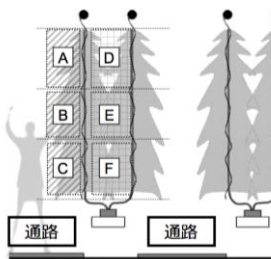
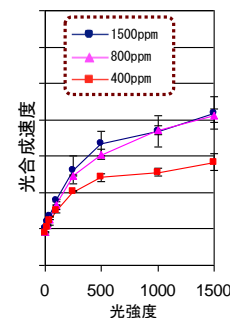
食・農クラウド  
Akisai

【主催】一般社団法人日本施設園芸協会

【事務局】愛媛大学植物工場研究センター

【概要】愛媛大学植物工場研究センターでは、太陽光利用型植物工場の生産性向上を目的として、SPA (Speaking Plant Approach) 技術\*を中心とした様々な研究・技術開発を行っています。本プログラムでは、「SPA 技術を駆使した栽培管理・環境制御」を実践できる技術者の育成を行います。Bコースでは、少人数での講義と実習を通じて様々な計測技術を習得することができます。

\*SPA: 各種センサを用いて植物生体情報を計測して生育状態を診断し、その診断結果に基づいて適切な栽培管理および環境制御を行うというものです。



## 開催場所

### 愛媛大学農学部

植物工場研究センター 研究・研修棟 1F

松山市樽味3-5-7

## 参加申込・お問合せ

- ❖ 参加申込HP:  
<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyub2/mpmailec/form.cgi>
- ❖ 問い合わせ: 高山・高橋 (事務担当 大内)  
(愛媛大学 農学部・植物工場研究センター)  
E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp

科目ID	日付	講師	内容 [講義]10:30~12:00, [実習]13:00~16:00
		科目名	
B-2-1	2/13[土]	高橋 憲子 (愛媛大学)	トマト果実の糖度, 酸度, ビタミンC含量, リコピン含量を計測する方法について学び, 実習を通じてこれらの計測法を習得します。
		果実成分の分析	
B-2-2	2/14[日]	高山 弘太郎 (愛媛大学)	トマト個体群を例に各種群落構造計測法を習得し, 群落内光環境モデルを作成します。これに個葉の光-光合成曲線を統合して, 群落光合成量・年間最大光合成量を推定します。
		エクセルを使った群落光合成モデル作成と年間収穫量のシミュレーション	
B-2-3	2/20[土]	高山 弘太郎 (愛媛大学)	携帯型光合成蒸散計測装置(LI-6400)を用いた光-光合成曲線・CO <sub>2</sub> 応答曲線の計測技術を習得し, 光合成機能評価を行えるようになります。
		光合成能力の測定	
B-2-4	2/24[水]	高山 弘太郎 (愛媛大学)	カメラ蛍光画像計測ホトで得られる高精度生体情報の分析技術(生体情報×環境情報の相関解析)を習得し, 高度な植物診断を可能にします。
		高精度生体情報の活用	
B-2-5	2/25[木]	谷口 浩之 (富士通(株))	生体情報を活用した統合環境制御によるトマト栽培について紹介し, 富士通(株)のサービスを例に具体的な考え方や設定方法を習得します。
		生体情報にもとづく環境制御の事例紹介	

※昼食は各自でご準備下さい。